

下田市は 8020運動

ハチマルニイマル

目標達成している？していない？

8020

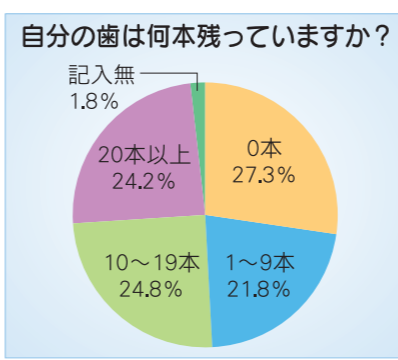
8020運動とは、厚生労働省と日本歯科医師会が推進する「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができますと言われています。

全国の平成23年度歯科疾患実態調査では80歳で20本以上の歯がある方は33・8%で、全国と比較すると残念ながら20本以上歯がある方の割合は少ない結果となりました。

歯を失う原因は むし歯と歯周病です

平成26年9月に下田市在住の80歳の方々305名にアンケート調査を実施し、165名の方々からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

今回の下田市のアンケート調査の結果からは20本以上の自分の歯がある方は24・2%でした。



今回の下田市のアンケート調査の結果からは20本以上の自分の歯がある方は24・2%でした。

歯周病予防のポイントとは？

平成23年に「歯科口腔保健の推進に関する法律」が制定

平成23年に「歯科口腔保健の推進に関する法律」が制定されたことにより、歯周病の予防が重要視されています。歯周病は歯を支える骨を溶かす病気です。歯周病は発症する前に予防することが大切です。

歯周病の原因となる歯垢の除去率は歯ブラシのみでは60%、歯間ブラシ、デンタルフロスなどの補助清掃用具を併用しても80%です。プロフェッショナルケアとは、歯科医院で専用器具を使って行う歯石除去などです。歯周病は発症する前に予防することが大切です。

歯科医院でのプロフェッショナルケアを受けましょう。市民保健課健康づくり係 (窓口⑤) ☎22217

【外来診療日】 毎週金曜日 第1月曜日、第2・4水曜日

【外来診療日】 毎週水曜日 第1月曜日、第2・4水曜日

下田まち遺産通信

問合せ先 建設課都市住宅係 ☎22219

1 下田まち遺産ギャラリーを開催します

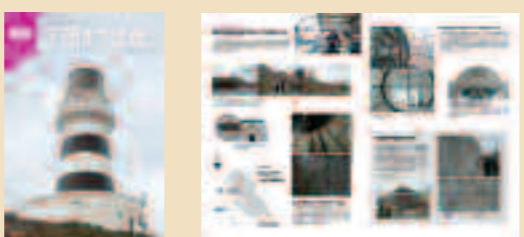
これまでに市民の方から提案された下田まち遺産候補の写真などを展示し、アンケート形式でご意見を伺います。アンケートの結果を踏まえ、下田まち遺産に認定させていただく予定ですので、皆様のご協力をお願いします。

日時 12月3日(水)~12月12日(金) 9時~17時
※3日は12時から、12日は14時までです。

場所 市民文化会館1階 マイマイギャラリー

2 下田まち遺産手帖Vol.8 発刊

市の景観施策や下田まち遺産を周知するためのフリーペーパー「下田まち遺産手帖」を発刊しました。日本最古の石造洋式灯台である神子元島灯台の歴史や構造などを掲載していますので、皆様ご一読ください。



設置場所 市役所、図書館、市民文化会館、市内各銀行、市内コンビニエンスストア、市内スーパーマーケット、市内ドラッグストアなど。

下田市新庁舎等建設基本構想 基本計画審議会委員を募集します

応募・問合せ先 施設整備室 ☎3928

下田市新庁舎等建設基本構想及び基本計画を策定するにあたり、市長の諮問に応じ調査審議するための附属機関「下田市新庁舎等建設基本構想・基本計画審議会」に委員として参画していただける方を募集いたします。

応募資格 下田市に住所を有する満20歳以上(平成26年4月1日現在)の方で、平日の昼間に開催予定の会議に参加できる方

募集人員 2名以内(男女各1名)

任期 平成26年12月頃から答申の終了まで(平成27年10月頃を予定)

募集期間 11月7日(金)~11月21日(金)まで(必着)

応募方法 施設整備室備付けの応募票に必要事項を全て記入し、施設整備室まで提出してください。応募票は、市のホームページでもダウンロードできます。(応募票は、返却せずに市で保管及び処分します。)

その他 応募票等を基に選考を行い、応募状況や応募票等の内容により面接等を実施する場合があります。 ※12月上旬を目安に委員を決定し、応募者全員に口頭または書面で通知します。 ※委員には市の規定による報酬をお支払いします。

メディカル通信

2. 脳神経外科 継続的な頭痛、吐き気を伴うようなめまい、手足のしびれや麻痺などは脳神経系の病気の可能性があります。 また、「頭を打った」や、「認知症かな？」というような症状でも脳の病気が心配な時は、脳神経外科が専門診療科となりますので、こういった症状がある方々はご相談ください。 脳神経外科は海老名総合病院より専門医が来て診察を行っています。

今回は専門的な外来診療科について紹介させて頂きます。 下田メディカルセンターでは現在、内科・外科・整形外科・小児科・眼科と常勤医師がいる診療科をはじめとし、循環器内科・脳神経外科・泌尿器科等のより専門的な治療が必要とされる診療科も定期的に外来診療を行っています。 今回は循環器内科と脳神経外科についてご案内させて頂きます。

【外来診療日】 毎週水曜日 第1月曜日、第2・4水曜日

【外来診療日】 毎週水曜日 第1月曜日、第2・4水曜日

1. 循環器内科 循環器内科は胸痛や動悸・息切れといった症状を持つ心臓の病気が主たるものになります。こういった症状がある方々はご相談ください。 外来診療日は毎週金曜日と毎月第1月曜日、第2・4水曜日となっております。北里大学の教授・准教授をはじめ専門医が診察を行っております。

【外来診療日】 毎週金曜日 第1月曜日、第2・4水曜日

【外来診療日】 毎週水曜日 第1月曜日、第2・4水曜日

快国航路

「よろず交流館らくら」が年内に閉館することになりました。当時からNPO法人下田にぎわい社中代表理事としてその企画・運営に携わってきた私としては、大変寂しい思いを持ちますが、引き継いでいただいた白井代表理事はじめ役員・会員の皆様のご尽力と長年ご愛顧いただいた市民・観光客の皆様に感謝申し上げます。

しかし、今後、下田にぎわい社中の活動は9月に150回開催を達成しました「まちなか日曜ひろ市」をはじめ「開国下田紅茶」「下田地米酒黎明」の商品化等継続していきますので、その成果を期待するところであります。私は30代に下田青年会議所において、まちづくりの勉強をさせていただき、多くの友人を得ました。40代にはまちづくりの任意団体として「下田にぎわい社中」を有志と共に立ち

上げ、伊豆新世紀創造祭等数々のイベントやNPO伊豆下田TMO等の活動に参画し、交流が広がりました。 「下田きんめ物語」「下田自酒俱樂部」「下田紅茶の会」を立ち上げ、特産品開発も始めました。50代になり、下田にぎわい社中をNPO法人化し、まちづくりへの役割と責任を明確にしました。 事業の柱として、よろず交流館らくらの開設、まちなか日曜ひろ市の開催、特産品の開発を掲げ、ヒトとモノと情報との交流拠点を目指しました。 運営は経済的には四苦八苦でありましたが、各事業を通しての会員相互、市民の皆様、観光客の皆様、全国各地の皆様との交流は大変楽しいものでした。

私たちのまちには、市民各層の皆様が活躍されている組織、団体、グループが沢山あります。これがまちの力であり、まちづくりの根幹であると思います。行政としてしっかりと支援し、協働の関係を構築していくことが重要であると認識します。

下田市長 楠山俊介